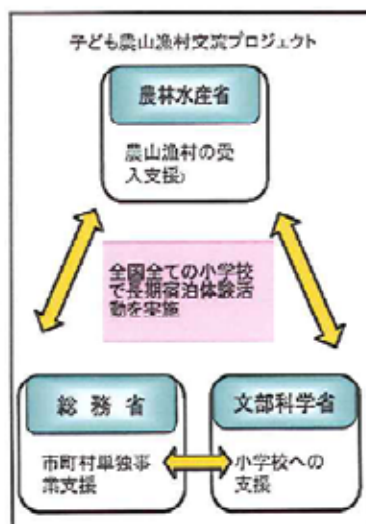


「子ども農山漁村交流プロジェクト」の推進

プロジェクトの概要

- 「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、農林水産省、文部科学省、総務省が連携し、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進するもの。
- 全国2万2千校の小学校(1学年規模120万人)で体験活動を展開することを目指し、小学校における長期宿泊体験活動の取組の推進、農山漁村における宿泊体験の受入体制の整備、地域の活力を創造する取組のサポートを行う。



日 程	午前	午後
1日目	移動	地域・まちづくり説明
2日目	自然観察ハイキング	農業体験
3日目	町歴史体験	昔の道具体験
4日目	食体験	田舎の暮らし体験
5日目	農村生活体験(民宿)	農村生活体験(民宿)
6日目	お別れ会	移動

取り組み状況

<受入モデル地域位置図>



事例：受入れ側の先進的な取組

『新潟県妙高市』

- ・ 本プロジェクトを契機に市役所が中心となって、それまで地域でバラバラに取り組んでいた団体を取りまとめ。
- ・ 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会を受入窓口として、NPO、農林漁家民宿、観光協会等で受入組織を構成。
- ・ 「国立妙高青少年の家」が中心となって学校のニーズに合わせた自然体験、農林業体験メニューを提供。
- ・ 58戸の農林漁家民宿により、5名程度の小規模分泊でも150名以上の受入れが可能。

